



SAP Ariba 

機能の概要

ヘッダーレベルの見積依頼書 (RFQ) フォームフィールドをソーシングプロジェクトにマッピング

Jaideep Tungare, SAP Ariba
一般提供予定: 2019 年 11 月

CONFIDENTIAL

機能の概要

説明: ヘッダーレベルの見積依頼書 (RFQ) フォームフィールドをソーシングプロジェクトにマッピング

SAP Ariba で問題解決

主なメリット

現在、Guided Buying により、見積依頼書 (RFQ) フォームのデータは明細データとしてのみソーシング申請とソーシングイベントに送信できます。

見積依頼書 (RFQ) フォームのデータをヘッダーレベルのデータとして、SAP Ariba Sourcing のソーシング申請またはソーシングイベントに送信することはできません。

この機能により、SAP Ariba Sourcing イベントの [概要] タブで、見積依頼書 (RFQ) フォームのデータがヘッダーレベルのフィールドにマッピングされます。これらのデータには、標準データ、マスターデータ、カスタムフィールドが含まれます。

Guided Buying 見積依頼書 (RFQ) フォームと SAP Ariba Sourcing イベントフィールドとの間の必要なデータのフィールドマッピング (リリースガイドの機能の詳細を参照) により、2 つのアプリケーション間でデータがシームレスに流れます。

SAP Ariba Sourcing イベントにヘッダーレベルのデータを自動入力しておくことで、手動での作業が削減されます。結果として、購買組織の正しいリソースに作業を割り当てるのが可能となり、ソーシングタスクと承認フローが促進されます。

自動データフローによってデータの正確性が向上します。

対象ソリューション

以下のソリューションに含まれる Guided Buying 機能:

- SAP Ariba Buying
- SAP Ariba Buying and Invoicing

関連情報

この機能は、該当するソリューションを使用しているすべてのお客様に対して自動的に有効になりますが、お客様が設定する必要があります。

前提条件と制限事項

SAP Ariba Sourcing で編集可能として定義されているフィールドの場合は、データは Guided Buying に戻されません。